

歌集

揺れいる 地軸

山本 司

歌集

揺れ
いる
地軸



山本
司



歌集 ゆ ちじく
揺れいる地軸

2014(平成26)年2月3日 初版発行

著者 山本 司

発行者 郡司 聡

発行所 株式会社 KADOKAWA

<http://www.kadokawa.co.jp/>

編集 角川学芸出版

〒102-8177 東京都千代田区富士見 2-13-3

電話 03-5215-7821(編集) 03-3238-8521(営業)

<http://www.kadokawagakugei.com/>

印刷所 中央精版印刷株式会社

製本所 中央精版印刷株式会社

本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁本はご面倒でも下記 KADOKAWA 読者係宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替えいたします。古書店で購入したものについては、お取り替えできません。

電話 049-259-1100（9時～17時／土日、祝日、年末年始を除く）

〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保 550-1

© Tsukasa Yamamoto 2014 Printed in Japan ISBN978-4-04-652812-4 C0092

揺れ
いる
地軸
＊
目
次

地軸揺れ——	大震災・原発大事故以後の数日 (二〇一一年三月十一日以後)	7
物心壊るる——	三月十四日以降(二〇一一年)	17
問わるる絆——	四月(二〇一一年)	37
声をあげねば——	五月(二〇一一年)	54
越えねばならず——	六月(二〇一一年)	64
陰と陽が——	七月(二〇一一年)	76
猛暑はなおも——	八月(二〇一一年)	89
葉は繁るとも——	九月(二〇一一年)	107
樹に吹く風——	十月(二〇一一年)	121

糺して止まず——十一月（二〇二一年）

希望への鐘——十二月（二〇二一年）

願えど寒し——一月（二〇二二年）

世情の虎落笛——二月（二〇二二年）

春なお寒く——三月（二〇二二年）

行方を糺さん——四月以降（二〇二二年）

あとがき

252

244

220

200

178

155

134

揺れ
いる
地軸
＊
目
次

地軸揺れ——大震災・原発大事故以後の数日 (二〇一一年三月十一日以後)	7
物心壊るる——三月十四日以降(二〇一一年)	17
問わるる絆——四月(二〇一一年)	37
声をあげねば——五月(二〇一一年)	54
越えねばならず——六月(二〇一一年)	64
陰と陽が——七月(二〇一一年)	76
猛暑はなおも——八月(二〇一一年)	89
葉は繁るとも——九月(二〇一一年)	107
樹に吹く風——十月(二〇一一年)	121

糺して止まず——十一月（二〇二一年）

希望への鐘——十二月（二〇二一年）

願えど寒し——一月（二〇二二年）

世情の虎落笛——二月（二〇二二年）

春なお寒く——三月（二〇二二年）

行方を糺さん——四月以降（二〇二二年）

あとがき

252

244

220

200

178

155

134

裝幀 甲斐順子

歌集
揺れ
いる
地軸

山
本

司

地軸揺れ——大震災・原発大事故以後の数日（二〇一一年三月十一日以後）

序——二〇一一年三月十一日午後二時四十六分に大地震発生

喘息の安静中の大震災 驚愕しつつ無力を悔やむ

東日本大震災

*

M・K氏と電話中に地震^{ない}来たり寸断されし日本の生活

千年に一度と言わるる大震災　日本列島の地軸ずれたり

逃げ遅れし人や車の流さるる映像の津波われをも襲う

防波堤いつきよに越えて町を呑む津波は人間の非力知らしむ

大津波と火災のやまぬ氣仙沼
時刻は止まりて映像つづく

千葉県のガス・タンクまで炎上す夜天を焼かんと巨大なる舌

首都圏の交通網の停止せり溢れし長蛇の行列映る

震源は東北地方の太平洋　鯨なますの長さ六百キロと識る

後に、海底二十四メートル移動、世界最大の地底変動と識る

海の底見ゆるほどに波引きしのちの津波が陸を呑みこむ

浸水面積五百平方キロと後に知る

襲いしはジェット機なみの速度とぞ十メートル超ゆる津波と知れり

航空機が水に浮かび流れおり地上にあらず仙台空港

犠牲者は万人超ゆと報ぜらる冷たきみ魂^{たま}のごとく降る雪

流されて倒れしままの一台のピアノが昼夜奏でる〈悲愴〉